

オリエンテーション～この授業の目指すところ～

年 組 氏名



【目的】授業の主役である生徒の皆さんが、この授業の目指すところを理解する。

I. この講座(菊池担当)について

科目名:科学と人間生活

単位数:2

担当者:菊池

準備するもの:教科書(東京書籍)、ワーク、プリントを収納するファイルなど

授業の進め方:

1. 授業の目的・目標の確認ー5分
2. 活動ー35～45分
3. 授業評価、次への課題ー5～10分

II. 1学期の評価について

以下の二点を総合して評価をつけます。

- ①2回の定期考査の得点ー素点100点
- ②出席・授業への取り組みー平常点50点

欠課時数

- 18回ー未修得(評定「1」)
- 24回ー未履修(進級不可)

III. この授業の目指すところ

<楽しく、快適に「科学と人間生活」を学ぶために>

① 授業の「目的」「目標」はハッキリさせよう。

必ず毎回の授業に「目的」と「目標」を設定します。でも、勉強しているうちに本当に大切なことが何かって見失いがちです。そんなときは、「目的」が何だったかを振り返ってみると意外と頭なの中がスッキリ整理されます。

② 毎回の「目標」は「全員達成」を目指そう。

僕には、クラスの「全員」が生物を理解して、「生物のおもしろさ」を知って欲しいという願いと、「全員」が「クラスの誰一人見捨てない」で欲しいという願いがあります。「全員達成」にはチームプレーが大切です。僕は「〇〇しろ」「××するな」とは極力言わないようにしています。ただし、「全員達成」だけは求めます。それを実現するために、一人一人がどのように動いたら良いか、自分で考えて、行動してみてください。僕は見守ろうと思います。

③ 「自由」に学習できる環境をつくろう。

僕はある考えのもとでこの授業スタイルをとっています。それは、「学習とは、本来与えられたものを学ぶことではなく、学びたいことを自ら学ぶことである」ということです。しかし、学校では「自分の学びたいことを自由に学ぶ」ということができません。理科が好きなの人も嫌いな人も、得意な人も苦手な人も、同じ空間で学ぶのが学校です。そこで、僕は学校での学びのあり方を考え、『学び合い』という

ものに行きつきました。とにかく、自分たちで学ぶ。対話をしながら学ぶ。チーム全員が達成できるように。

ある意味では、「自由」の幅が他の授業に比べると大きい時間かましません。

たまに「自由」をはき違えてしまう人がいます。「自由」に学習できる環境は、一人ひとりが「お互いを認め合う」ことで作られると思います。自分だけが「自由」を求めるわけにはいかないのです。「お互いを認め合う」ことで、それぞれが「自由」に学習できることが、僕はみんなにとって一番幸せなのではないかと思っています。

Ⅳ. ワーク

<バースデーライン>

- (1) 配布された用紙に、自分の誕生日(▽月△日)を記し、ポケットにしまう。
- (2) スタート;計時開始以降、ゴールするまで言葉を発してはいけない(筆談も不可)。
- (3) 互いの誕生日を身振り・手振りで伝えあい、順番に並ぶ。
※同じ誕生日だったら、順番は問わない;どの順番でも良い。
- (4) 終了したら全員が手をつないでハンズアップ! =ゴールとします;計時終了
- (5) ポケットにしまっている誕生日のメモを順番に読み上げる。
- (6) 誤りがなければ合格!

Ⅴ. ホームページ

ホームページを開設しています。授業プリントをダウンロードしたり、振り返りを書いたりする予定です。ホームページ内でブログもやっていますので良かったら見てください。

<http://biology-manabiai.jimdo.com/>

